

高知県感染症発生動向調査（月報）

2025年4月

高知県感染症情報センター
高知県衛生環境研究所
TEL:088-821-4961 FAX:088-821-4696

全国情報

2025年4月7日から、急性呼吸器感染症（Acute Respiratory Infection:ARI）を5類感染症に位置付けし、全国でサーベイランスが開始された。その目的は、新型コロナウイルス感染症の経験を踏まえ、ARIの流行を把握し、仮に未知の感染症が発生し増加し始めた場合に、迅速に探知することにある。ARIとは、急性の上気道炎（鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎、喉頭炎）又は下気道炎（気管支炎、細気管支炎、肺炎）を指す、感染症の総称である。インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナなどが含まれる。症例定義は『咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つの症状を呈し、発症から10日以内の急性症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例』である。同様の調査はすでに米国、英国、フランス、ドイツ、スウェーデン等でも実施されている。

これに伴って、県下の定点医療機関の見直しがされ、これまで55定点であったものが、第15週から49定点に変更された。さらに、これまで原則水曜日に公表していた高知県感染症発生動向調査（週報）は、第15週分から原則木曜日公表に変更された。

第14週（3月31日～）から第17週（～4月27日）までの4週間に報告の多かった疾患は表1のとおりである。全国における上位6疾患の合計は60.73で3月の78.57と比べて減少した。その原因は感染性胃腸炎、新型コロナウイルス感染症、インフルエンザの減少である。

新型コロナウイルス感染症について、全国と高知県の定点報告数を図1に示す。12月以降に増加に転じたが大きな流行には至らなかった。

1位は感染性胃腸炎で31.60（3月1位39.47）と減少した。2位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で9.30（同3位8.51）と横ばいだった。3位は新型コロナウイルス感染症で7.40（同2位14.07）、4位はインフルエンザで4.68（同4位8.08）とそれぞれ減少した。5位は伝染性紅斑で4.31（同7位2.87）と増加した。6位は流行性角結膜炎で3.44（同6位3.35）と横ばいだった。急性呼吸器感染症は第15週以降の定点報告数は、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症が減少するなか、週ごとに増加傾向で累積値は168.14であった。

表1 各週定点当たり報告数（全国）

No	疾病名	14週	15週	16週	17週	計
1	感染性胃腸炎	6.41	8.26	8.54	8.39	31.60
2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.71	2.12	2.64	2.83	9.30
3	新型コロナウイルス感染症	2.14	2.10	1.77	1.39	7.40
4	インフルエンザ	1.20	1.19	1.20	1.09	4.68
5	伝染性紅斑	0.63	1.13	1.25	1.30	4.31
6	流行性角結膜炎	0.77	0.81	0.95	0.91	3.44

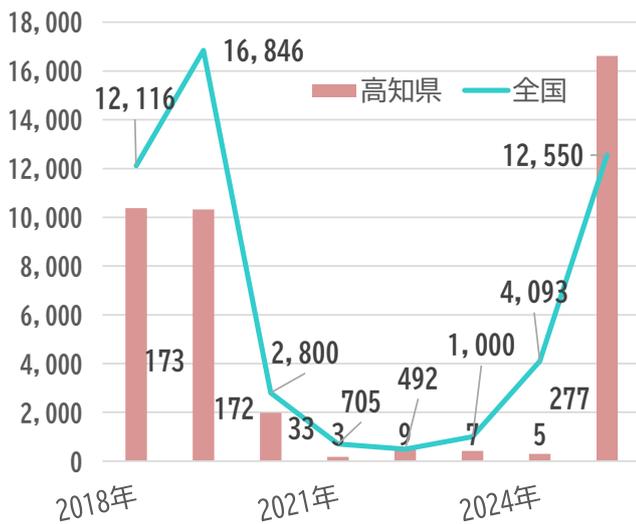
県内情報

1. 全国との対比（定点当たり報告数）

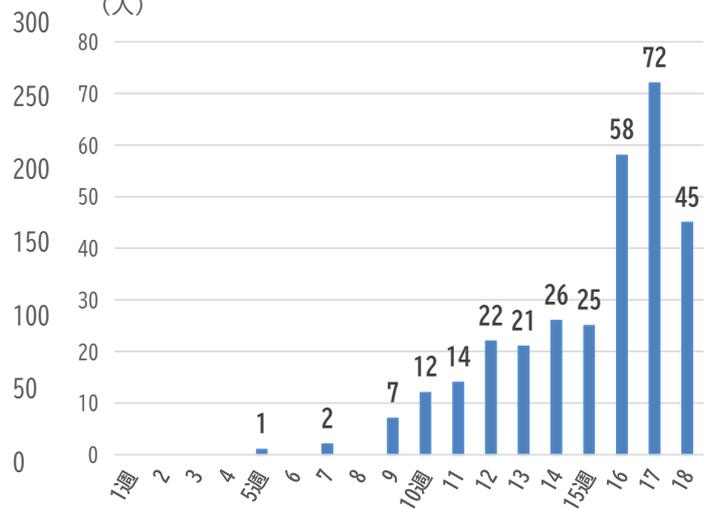
上位6疾患の県内における報告数の合計は46.21で3月の61.75と比べて減少し全国よりも少なかった（表2）。減少の原因は感染性胃腸炎と新型コロナウイルス感染症の減少によるところが大きい。4月の上位6疾患は次のとおりである。

1位は感染性胃腸炎で18.43（3月1位29.20）と減少し全国よりも少なかった。2位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で8.43（同3位9.84）と減少したが全国と同等だった。3位は新型コロナウイルス感染症で7.76（同2位13.32）と減少し全国と同等だった。4位はRSウイルス感染症で5.15（同4位5.12）と横ばいであったが全国よりも多かった。5位はインフルエンザで3.85（同7位1.77）と再び増加したが全国よりも少なかった。6位は伝染性紅斑で2.59（同5位2.28）と増加したが全国よりも少なかった。急性呼吸器感染症は91.37で全国よりも少

(人) 図2a 百日咳患者の年次報告数



(人) 図2b 高知県下の百日咳報告数 (2025年)



2. 全体の傾向

麻疹、風しんの報告無し。しかし、全国的に麻疹が増加し、第17週までに96名の感染者が報告されている。患者は20代-30代が主体で、「麻疹は成人の感染症」という認識が重要である。海外で感染を受けた者（輸入感染例）が45名と過半数を占め、その内訳はベトナムが最多で35名、タイ3名、フィリピン2名、ベトナム/大韓民国、イタリア/フランス、カンボジア/ラオス、パキスタン、オランダ/ノルウェーが各1名である。大阪万博が開催されていることもあり、麻疹含有ワクチンの2回接種の重要性が叫ばれている。2回接種を受けても麻疹を発症する者が少数いるが、この場合は軽症化し感染力が減弱する修飾麻疹の臨床像をとる。

全国と同様に、2月から県下でも百日咳の発生届が増加し、5月8日までに308件に昇っている。2020年～24年の年間届け出数は33件、3件、9件、7件、5件であり、新型コロナ流行中は減少していたが、全数把握を始めた2018年以降で、本年は最大の流行となる勢いである（図2a, 図2b）。

3月に高知市在住の1か月未満児例（無呼吸・チアノーゼ）の届け出があり、本児からマクロライド耐性百日咳菌が検出された。この分離株は、本県で分離培養された、最初のマクロライド耐性百日咳菌である。

以下に示す通り、全国各地でマクロライド系抗菌薬耐性の百日咳の報告が相次ぎ、重症例も報告されている。

- ・大坂府の3例 <https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/iasr/46/540/article/140/index.html>
- ・沖縄県の2例 <https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/iasr/46/540/article/130/index.html>
- ・鳥取県では8株/9株（89%）がML耐性
<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/iasr/46/540/article/150/index.html>
- ・東京都の5例（1例は死亡）
<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/iasr/IASR/Vol146/543/543p01.html>

2024年12月に「新生児におけるエコーウイルス11型（E-11）感染症の発生について、厚生労働省から日本医師会に対して通達が行なわれた（<https://www.mhlw.go.jp/content/001345108.pdf>）。さらに、2025年2月6日には、E-11感染症の実態把握を目的に、厚労省は都道府県・保健所設置市に対して、積極的疫学調査の協力依頼を发出した（<https://www.mhlw.go.jp/content/001345107.pdf>）。対象は重症感染症を呈した3か月以下の乳児で、臨床検体すなわち①呼吸器由来検体（咽頭ぬぐい液等）、②消化器由来検体（ふん便や直腸ぬぐい液）、③血清、④髄液）を衛生環境研究所に送付することとなっている。2024年に高知県ではE-11が6件検出されており、重篤となりやすい新生児感染例に注意する必要がある。

3. 主な疾患の発生状況

1) 急性呼吸器感染症

報告数 3,472名。2025年4月7日から新たにサーベイランスが開始された。中央西、高知市、中央東、幡多、安芸、須崎の順に多かった。

2) インフルエンザ

報告数 150名（3月 78名）。2024/25シーズンは12月に著増し、同時期としては過去10年間で2023年に次いで2番目に多い報告数だった。1月はさらに増加したものの第2週をピークに減少していたが、第14週にB型ウイルスの流行のため再び増加に転じ、第16週に2つ目のピークを形成した。

県下全域から報告があり、須崎、安芸、中央東がとくに多かった。ウイルスはA型H1 pdm09が1月-2月に計17件検出され、主たる流行株であった。2月以降にB/Victoriaが5件検出されている。

3) 新型コロナウイルス感染症

報告数 309名 (3月 586名)。図1に2023年5月以降の定点報告数を示す。年末年始の流行が恒例だったが、今季は大きな流行にはならなかった。

県下全域から報告があり、中央西、須崎がとくに多かった。県下で採取されたウイルス株の解析結果を表3に示す。2023年10月以降はすべてオミクロン株のBA. 2系統群に分類されるウイルスであったが、2025年1月～3月の3か月間で、新たに登場したXEC 5件、XEC. 2 20件、XEC. 4 5件、XEC. 5、XEC. 8、XEKが各1件検出され、KP. 3が6件、MCが3件検出されている。

4) 咽頭結膜熱

報告数 16名 (3月 20名)。2023年10月～2024年3月は、同時期として過去10年間で最多の報告数が続いたが、2024年5月以降は平年ペースに落ち着いている。須崎、中央東、高知市、幡多から表記の順に多く報告された。咽頭結膜熱以外と診断された者からAdenovirus 41が2件、Adenovirus 2と同NTが各1件検出された。

5) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告数 175名 (3月 246名)。2024年は過去10年間で最多だったが、2025年1月以降は平年並で推移している。安芸以外から報告があり、中央西、幡多、高知市、中央東、須崎の順に多かった。*Streptococcus pyogenes* T1が前月の2件に続いて1件検出された。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症の多発が問題となり、2024年は第52週（12月29日）までに全国から計1,888名が報告され、最多を更新、高知県では7名が報告された。2025年は第15週までに全国で482名、高知県で1名報告されているが、報告のペースは少し鈍ってきた。

6) 感染性胃腸炎

報告数 388名 (3月 730名)。新型コロナウイルス感染症流行が始まった2020年以降は少ない数で推移していた。2025年3月に増加がみられ、同月としては過去10年間で2016年に次いで2番目に多かったが、4月は平年並に落ち着いた。県下全域から報告があり、幡多、中央東、高知市、須崎がとくに多かった。Norovirus GII NTが9件、Sapovirus genogroup unknownが3件、Adenovirus 41が1件（臨床診断名がその他も含む）検出された。

7) 水痘

報告数 20名 (3月 10名)。ワクチン定期化の効果で少ない数で推移している。中央西、安芸＝高知市＝須崎＝幡多から報告された。

8) 手足口病

報告数 7名 (3月 3名)。2024年は4月に流行が始まり、6月と10月にピークをつくり二峰性流行（流行株はCoxsackievirus A6、同A10と同A16の3種類）となり、過去10年間で最大流行規模だったが、2025年2月に減少した。高知市から4名、中央西、幡多、中央東から各1名が報告された。ウイルスは検出されていない。

9) 伝染性紅斑

報告数 53名 (3月 57名)。2024年10月から増加し、2025年1月以降は過去10年間で同時期として最多を更新し続けている。Human parvovirus B19が貧血素因のある者に感染すると重症貧血を起こし（aplastic crisis）、妊婦に感染すると胎児水腫と流産の原因となる点が臨床的に重要である。須崎、高知市、幡多、中央西、中央東から表記の順に多く報告された。伝染紅斑と診断された者とその他と診断された者からhuman parvovirus B19が計8件検出された。

10) 突発性発疹

報告数 7名 (3月 21名)。想定内の推移である。

11) ヘルパンギーナ

報告数 1名 (3月 0名)。2022年は過去10年間で最小、翌2023年は最大の流行であった。2024年は5月から流行が始まり6月をピークとする標準的な規模であったが、原因ウイルスは不明だった。12月に流行は収束した。

12) 流行性耳下腺炎

報告数 6名（3月 0名）。2020年5月以降は一桁の報告数で推移している。中央西と中央東から各2名、幡多と高知市から各1名が報告された。

13) RSウイルス感染症

報告数 109名（3月 128名）。2021年は過去10年で最大の流行で、2021年から4年連続で夏に流行した。2024年は4月から流行が始まり、8月をピークにして収束し、2025年1月に増加に転じた。3-4月は同時期として過去10年間で最大の報告数である。安芸以外から報告があり、とくに多かったのは高知市と幡多である。急性呼吸器感染症からRSvirusが1件と同B型が3件検出され、親類のウイルスであるhuman metapneumovirusも3件検出されている。

RSウイルス感染症は小児期に皆が罹る気道感染症の中では最も重症で年少児ほど入院のリスクが高い。須崎市では、この疾患を予防するモノクローナル抗体（ニルセビマブ）の保険適応外使用、すなわち基礎疾患のない乳児に対する使用を公費負担で行うことを決め、6月から投与が開始される。日本で初めての試みであり、効果が期待される。

14) 流行性角結膜炎

報告数 7名（3月 6名）。2019年以降は一桁の報告数で推移している。

15) 細菌性髄膜炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 0名（3月 1名）。2017年以降は年間一桁の報告数で推移していたが、2024年は11名に達した。

16) 無菌性髄膜炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 1名（3月 1名）。従来は年間20～30名台の報告数で推移していたが、2017年以降は1～9名/年で推移している。高知市から50代の患者1名が報告された。

17) マイコプラズマ肺炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 15名（3月 14名）。2024年は過去10年間で最大の流行となったが、11月以降に減少に転じた。幡多、高知市、中央東から報告された。流行細菌株のマクロライド感受性については確定していない。

基幹定点の月報疾患

18) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

報告数 17名（3月 26名）。高知市と中央東から報告された。

19) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

報告数 0名（3月 0名）。2015年以降は、年間0～2名の報告にとどまっており、2024年は2名だった。

高知県感染症発生動向調査部会
前田 明彦

【参考】

全数報告

年別全数報告数（令和7年4月）

類型	病名	報告年															
		2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
2	結核	156	192	132	128	138	129	122	110	97	103	60	65	73	53	62	16
	計	156	192	132	128	138	129	122	110	97	103	60	65	73	53	62	16
3	コレラ	1															
	細菌性赤痢							2									
	腸管出血性大腸菌感染症	12	3	8	3	5	2	34	2	4	9	1		3	7	5	2
	腸チフス						1				1						
計	13	3	8	3	5	3	34	4	4	10	1	0	3	7	5	2	
4	A型肝炎	3					3	1			2					1	1
	E型肝炎	1		1							2	1		1			
	オウム病								1								
	サル痘														1		
	重症熱性血小板減少症候群				3	11	3	7	5	5	9	6	4	8	10	10	1
	つつが虫病	2	5	8	3	3		4	11	2	3	3	1	5	11	3	
	デング熱	1			3	2	1				2						
	日本紅斑熱	7	15	4	1	7	4	13	6	13	10	23	16	12	16	9	
	日本脳炎	1															
	マラリア		1								1				1	1	
	レジオネラ症	3	6	9	2	4	4	3	6	9	7	8	8	8	7	8	2
	レプトスピラ症		4	2	1				1						1		
	計	18	31	24	13	27	15	28	30	29	36	41	29	34	47	32	4
5	アメーバ赤痢	2	2	3		7	3	2	5	3	3		1	5	1	1	
	ウイルス性肝炎	3		3		1			2	1	1	2	2	2	1		2
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症					7	19	21	22	21	20	10	5	12	9	11	1
	急性弛緩性麻痺								1	2					1	2	
	急性脳炎	1	3	1		1	1	1	1		2	1	1	2			
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3				2			2	1	1	3		1	1		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1	3		1		3	5	6	2	2	5	4	1	6	2
	後天性免疫不全症候群	2	3	3	2	7	6	9	6	9	1	6		6	2	4	1
	ジアルジア症		1	1						1							
	侵襲性インフルエンザ菌感染症				1	5	3	4	7	3	1	1	3	7	9	2	
	侵襲性肺炎球菌感染症				1	4	12	16	18	14	22	11	9	6	12	18	7
	水痘（入院例に限る）						2	1	1	3		3	3	3	1		2
	髄膜炎菌性髄膜炎																
	梅毒	2	4	10	8	4	11	12	23	19	20	35	96	51	62	40	16
	播種性クリプトコックス症								1	3	5			4	3	1	
	破傷風	1	1	1		4	3	3	1		2	3	1	3	1	1	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症						1		1	1							
百日咳										173	172	35	3	9	7	4	235
風しん			4	9	1				3								
麻疹																	
計	14	15	29	20	40	63	72	94	268	251	112	127	111	109	97	268	
動物	鳥インフルエンザ		1														
	計		1														
総計		201	242	193	164	210	210	256	238	398	400	214	221	221	216	196	290

類型	病名	報告月				総計	
		1月	2月	3月	4月		
2	結核	4	4	7	1	16	
3	腸管出血性大腸菌感染症		1	1		2	
4	A型肝炎			1		1	
	重症熱性血小板減少症候群				1	1	
	レジオネラ症	1		1		2	
5	ウイルス性肝炎			1	1	2	
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症			1		1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1		1	2
	後天性免疫不全症候群				1	1	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症			1	1	2	
	侵襲性肺炎球菌感染症	4		2	1	7	
	水痘（入院例に限る）	1		1		2	
	梅毒	4	7	2	3	16	
百日咳	1	8	62	164	235		
総計		15	24	79	172	290	

高知県感染症情報 月報（55定点医療機関）

2025年

4月

定点名	疾病名	保健所							計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				
急性呼吸器感染症	急性呼吸器感染症 (ARI)	198	722	1379	489	190	494	3472			
	インフルエンザ	16	37	34	8	43	12	150	78	425	
	新型コロナウイルス感染症	12	56	91	59	48	43	309	586	478	
小児科	咽頭結膜熱		4	6		5	1	16	20	28	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		30	79	25	11	30	175	246	291	
	感染性胃腸炎	11	86	155	12	30	94	388	730	222	
	水痘	1		8	6	2	3	20	10	18	
	手足口病		1	4	1		1	7	3	67	
	伝染性紅斑		4	30	3	11	5	53	57	2	
	突発性発疹			6			1	7	21	18	
	ヘルパンギーナ			1				1		9	
	流行性耳下腺炎		2	1	2		1	6			
	RSウイルス感染症		18	64	1	8	18	109	128	69	
眼科	急性出血性結膜炎										
	流行性角結膜炎			7				7	6		
STD	性器クラミジア感染症		1	6			1	8	8	7	
	性器ヘルペスウイルス感染症		2				1	3	2	2	
	尖圭コンジローマ									1	
	淋菌感染症		1					1	1		
基幹	細菌性髄膜炎								1	1	
	無菌性髄膜炎			1				1	1		
	マイコプラズマ肺炎		1	8			6	15	14	3	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)										
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る)			2			1	3	2	1	
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		2	15				17	26	21	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症									1	
	薬剤耐性緑膿菌感染症										
計		40	245	518	117	158	218	1,296	1,940	1,664	
前月		101	316	801	174	175	373				
前年同月		64	349	719	123	181	228				
小児科定点数		1	4	8	2	2	3				

高知県感染症情報 月報 (55定点医療機関)

2025年

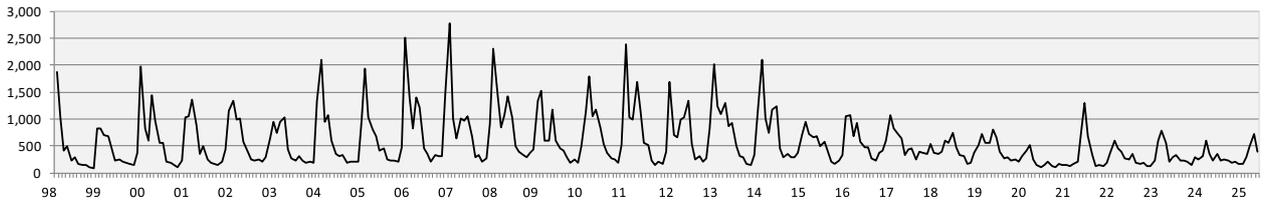
4月

定点当たりの人数

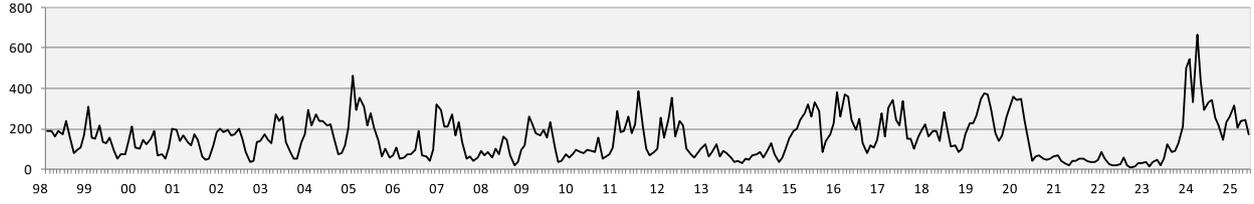
定点名	疾病名	保健所							計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				
急性呼吸器感染症	急性呼吸器感染症 (ARI)	66.00	103.15	106.08	122.25	47.50	70.58	91.37			
	インフルエンザ	5.33	4.43	2.59	2.00	10.75	1.71	3.85	1.77	9.66	
	新型コロナウイルス感染症	3.33	6.76	6.83	14.75	12.00	6.14	7.76	13.32	10.86	
小児科	咽頭結膜熱		0.83	0.75		2.50	0.33	0.77	0.80	1.12	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		7.08	9.65	12.50	5.50	10.00	8.43	9.84	11.64	
	感染性胃腸炎	6.00	19.17	18.82	6.00	15.00	31.33	18.43	29.20	8.88	
	水痘	1.00		1.00	3.00	1.00	1.00	0.96	0.40	0.72	
	手足口病		0.25	0.49	0.50		0.33	0.34	0.12	2.68	
	伝染性紅斑		0.92	3.71	1.50	5.50	1.67	2.59	2.28	0.08	
	突発性発疹			0.74			0.33	0.34	0.84	0.72	
	ヘルパンギーナ			0.13				0.05		0.36	
	流行性耳下腺炎		0.50	0.11	1.00		0.33	0.28			
	RSウイルス感染症		3.75	7.69	0.50	4.00	6.00	5.15	5.12	2.76	
眼科	急性出血性結膜炎										
	流行性角結膜炎			7.00				2.34	1.99		
STD	性器クラミジア感染症		0.50	3.00			0.50	1.33	1.33	1.17	
	性器ヘルペスウイルス感染症		1.00				0.50	0.50	0.33	0.33	
	尖圭コンジローマ									0.17	
	淋菌感染症		0.50					0.17	0.17		
基幹	細菌性髄膜炎								0.13	0.13	
	無菌性髄膜炎			0.20				0.13	0.13		
	マイコプラズマ肺炎		1.00	1.60			6.00	1.89	1.76	0.38	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)										
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る)			0.40			1.00	0.38	0.25	0.13	
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		2.00	3.00				2.13	3.25	2.63	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 薬剤耐性緑膿菌感染症									0.13	
小児科定点分計		15.66	43.69	52.51	41.75	56.25	59.17	48.95	63.69	49.48	
前月		42.25	41.46	75.25	68.50	66.00	78.39				
前年同月		19.00	42.79	64.17	38.00	68.00	39.64				

注目される疾患の月別推移

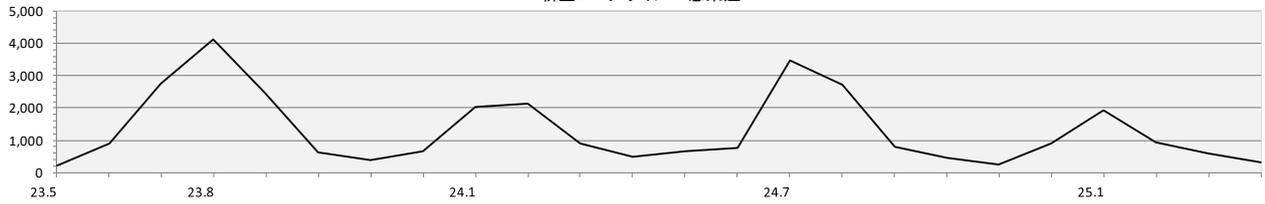
感染性胃腸炎



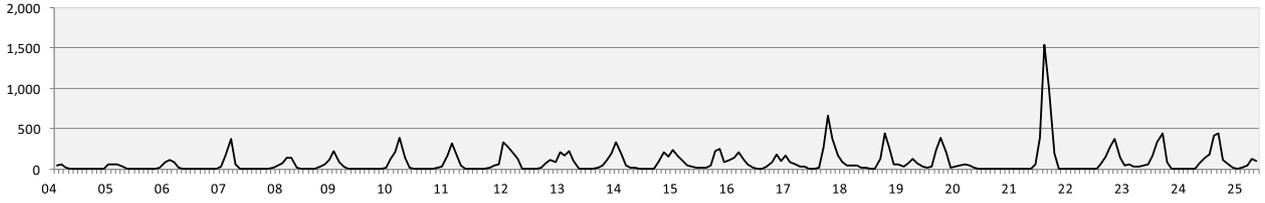
A群溶血性レンサ球菌感染症



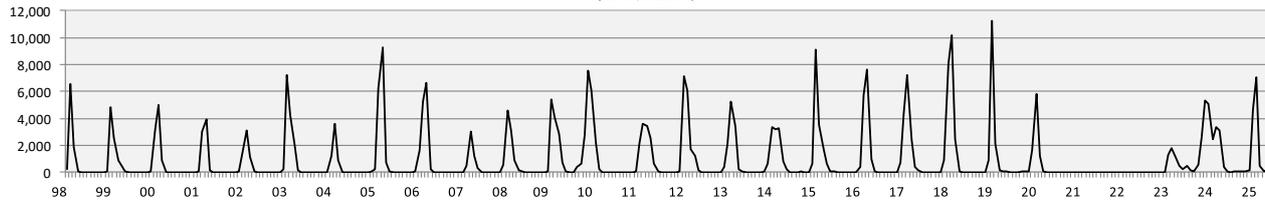
新型コロナウイルス感染症



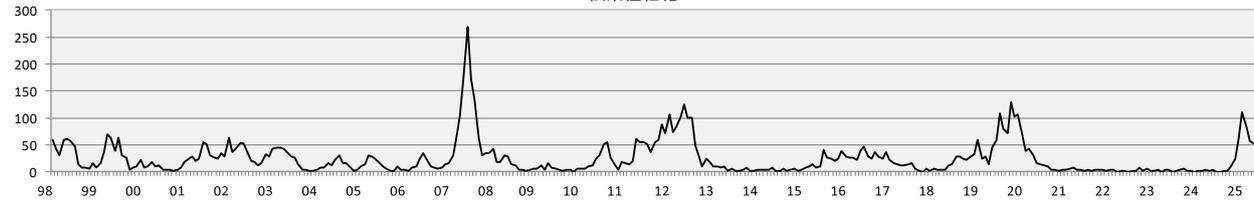
RSウイルス感染症



インフルエンザ



伝染性紅斑



高知県感染症情報（月報）
2025年4月

検査情報

ウイルス、細菌の分離状況

令和7年4月はウイルス82件、細菌1件の搬入があり、そのうち ウイルス61件、細菌1件の病原体を検出し、3月に搬入された検体からウイルス12件を検出した。検出ウイルスの内訳は、Adenovirus 2 1件、Adenovirus 41 2件、Adenovirus NT 1件、Cytomegalovirus 1件、Epstein-Barr virus 1件、Human herpes virus 6 3件、Human herpes virus 7 9件、Human metapneumovirus 3件、human parvovirus B19 8件、Influenza virus B/Victoria 7件、Norovirus GII NT 9件、Respiratory syncytial virus 1件、Respiratory syncytial virus B 3件、Rhinovirus 8件、Sapovirus genogroup unknown 3件、SARS-CoV-2 12件、Varicella-zoster virus 1件、細菌の内訳はStreptococcus pyogenes T1 1件であった。

ウイルス、細菌の分離状況

No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス、細菌の検出
1	5	男	新型コロナウイルス感染症	39℃,	ぬぐい液	2/25	SARS-CoV-2(解析不能)
2	93	女	新型コロナウイルス感染症	38℃,	唾液	2/26	SARS-CoV-2(解析不能)
3	92	女	新型コロナウイルス感染症	38℃,	唾液	3/3	SARS-CoV-2
4	84	男	新型コロナウイルス感染症	37℃, 咳嗽,	鼻咽頭ぬぐい液	3/9	SARS-CoV-2
5	87	男	新型コロナウイルス感染症	38℃,	鼻咽頭ぬぐい	3/11	SARS-CoV-2
6	81	女	新型コロナウイルス感染症	-	鼻咽頭ぬぐい	3/11	SARS-CoV-2
7	23	女	新型コロナウイルス感染症	上気道炎,	鼻咽頭ぬぐい	3/12	SARS-CoV-2
8	78	男	新型コロナウイルス感染症	39℃,	鼻咽頭ぬぐい	3/18	SARS-CoV-2
9	18	女	-	39℃, 下痢, 嘔吐, 腹痛,	ふん便	3/19	Norovirus GII NT Sapovirus genogroup unknown
10	2	男	-	39℃, 下気道炎,	ぬぐい液	3/19	Rhinovirus
11	82	女	新型コロナウイルス感染症	38℃,	鼻咽頭ぬぐい	3/20	SARS-CoV-2
12	72	男	新型コロナウイルス感染症	37℃,	鼻咽頭ぬぐい	3/21	SARS-CoV-2
13	48	女	新型コロナウイルス感染症	38℃, 上気道炎,	鼻咽頭ぬぐい	3/22	SARS-CoV-2
14	89	女	新型コロナウイルス感染症	38℃,	鼻咽頭ぬぐい	3/23	SARS-CoV-2
15	11	女	伝染性紅斑	発疹,	ぬぐい液	3/25	Human herpes virus 7
16	6	男	伝染性紅斑	39℃, 発疹,	ぬぐい液	3/25	Adenovirus 41 human parvovirus B19 Human herpes virus 7
17	6	男	伝染性紅斑	発疹,	ぬぐい液	3/26	human parvovirus B19
18	9か月	男	感染性胃腸炎	下痢, 嘔吐,	ふん便	3/28	Norovirus GII NT
19	4	男	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	発疹,	ぬぐい液	3/29	Streptococcus pyogenes T1
20	6	男	伝染性紅斑	発疹,	ぬぐい液	3/31	human parvovirus B19 Human herpes virus 7
21	3	女	感染性胃腸炎	下痢, 嘔吐,	ふん便	3/31	Adenovirus 41
22	5	男	インフルエンザ	40℃, 腹痛,	ぬぐい液	4/2	Influenza virus B/Victoria
23	4	男	-	38℃, 嘔吐, 腹痛,	ふん便	4/2	Norovirus GII NT
24	4	男	感染性胃腸炎	嘔吐,	ふん便	4/3	Norovirus GII NT
25	5	女	感染性胃腸炎	下痢, 嘔吐,	ふん便	4/7	Norovirus GII NT
26	3	女	hMPV感染症	39℃, 咳嗽,	ぬぐい液	4/7	Adenovirus 2 Rhinovirus
27	5	男	伝染性紅斑	発疹,	ぬぐい液	4/7	human parvovirus B19 Human herpes virus 7
28	3	女	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	39℃, 咳嗽, 上気道炎,	ぬぐい液	4/8	Human metapneumovirus
29	1	女	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	38℃, 咳嗽, 気管支炎,	ぬぐい液	4/8	Adenovirus NT Respiratory syncytial virus B
30	8	男	不明熱	39℃,	ぬぐい液	4/9	human parvovirus B19
31	6	男	感染性胃腸炎	下痢, 嘔吐,	ふん便	4/9	Norovirus GII NT
32	6	女	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	咳嗽,	ぬぐい液	4/9	Rhinovirus
33	1	男	感染性胃腸炎	39℃, 下痢,	ふん便	4/9	Sapovirus genogroup unknown
34	26	女	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	-	鼻咽頭ぬぐい	4/10	Rhinovirus
35	17	男	水痘疑い	38℃, 発疹, 口内炎,	ぬぐい液	4/11	Human herpes virus 6 Human herpes virus 7 Varicella-zoster virus
36	3	女	感染性胃腸炎	38℃, 嘔吐,	ふん便	4/11	Norovirus GII NT
37	3	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	咳嗽,	鼻汁	4/11	Human metapneumovirus
38	16	女	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	40℃, 咳嗽,	鼻咽頭ぬぐい	4/11	Rhinovirus
39	1か月	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	38℃, 咳嗽, 下気道炎,	鼻咽頭ぬぐい	4/11	Rhinovirus
40	5	男	EB疑い	39℃,	ぬぐい液	4/12	Epstein-Barr virus
41	7か月	男	ヘルペス疑い	発疹,	ぬぐい液	4/14	Cytomegalovirus Human herpes virus 6
42	2	女	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	40℃, 咳嗽,	鼻汁	4/14	Human metapneumovirus
43	2	女	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	40℃, 咳嗽,	鼻汁	4/14	Respiratory syncytial virus

No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス、細菌の検出
44	6	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ）	38℃,	鼻汁	4/15	Influenza virus B/Victoria
45	6	女	急性呼吸器感染症（インフルエンザ）	39℃,	ぬぐい液	4/15	Influenza virus B/Victoria
46	6	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ）	39℃,	鼻汁	4/15	Influenza virus B/Victoria
47	6	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ）	39℃, 嘔吐,	鼻汁	4/15	Influenza virus B/Victoria
48	6	女	急性呼吸器感染症（インフルエンザ）	39℃,	鼻汁	4/16	Influenza virus B/Victoria
49	5	女	不明発疹症	発疹,	ぬぐい液	4/16	Human herpes virus 7
50	8	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	40℃, 咳嗽,	ぬぐい液	4/19	Influenza virus B/Victoria
51	9	男	ヘルパンギーナ	口内炎,	ぬぐい液	4/21	Rhinovirus
52	4	男	伝染性紅斑	発疹,	ぬぐい液	4/21	Human herpes virus 7
53	3	男	伝染性紅斑	発疹,	ぬぐい液	4/21	human parvovirus B19
54	4	女	感染性胃腸炎	38℃, 嘔吐, 腹痛,	ふん便	4/21	Rhinovirus
55	8	女	伝染性紅斑	39℃, 発疹,	ぬぐい液	4/23	human parvovirus B19
56	6	女	伝染性紅斑	発疹,	ぬぐい液	4/23	human parvovirus B19
57	2	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	40℃, 咳嗽,	鼻汁	4/24	Respiratory syncytial virus B
58	1	女	感染性胃腸炎	下痢, 嘔吐,	ふん便	4/24	Norovirus GII NT
59	7	男	感染性胃腸炎	嘔吐, 腹痛,	ふん便	4/25	Sapovirus genogroup unknown
60	6	男	多形滲出性紅斑疑い	発疹,	ぬぐい液	4/25	Human herpes virus 6
61	9	女	伝染性紅斑	発疹,	ぬぐい液	4/25	Human herpes virus 7
62	2	男	感染性胃腸炎	下痢, 嘔吐,	ふん便	4/26	Norovirus GII NT
63	14	女	伝染性紅斑	発疹,	ぬぐい液	4/28	Human herpes virus 7
64	7か月	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	咳嗽,	鼻汁	4/28	Respiratory syncytial virus B

病原体検出状況

臨床診断名	病原微生物	2025年				2025年総計
		1月	2月	3月	4月	
A群溶血性レンサ球菌咽頭	<i>Streptococcus pyogenes</i> T1			2	1	3
	計			2	1	3
RSウイルス感染症	Respiratory syncytial virus					
	計					
咽頭結膜熱	Adenovirus 5			1		1
	Echovirus 11					
	Rhinovirus		1			1
	計		1	1		2
インフルエンザ	Epstein-Barr virus			1		1
	Influenza virus A H1pdm09	15	2			17
	Influenza virus A NT	1				1
	Influenza virus A H3 NT	3	2	1		6
	Influenza virus B/Victoria		2	2	1	5
	計	19	6	4	1	30
感染性胃腸炎	Adenovirus 2		1			1
	Adenovirus 41				1	1
	Astrovirus NT			1		1
	Norovirus GII NT		2	7	7	16
	Rhinovirus				1	1
	Rotavirus group A G8		1			1
	Sapovirus genogroup unknown			1	2	3
計		4	9	11	24	
新型コロナウイルス感染症	SARS-CoV-2	22	21	12		55
	計	22	21	12		55

臨床診断名	病原微生物	2025年				2025年総計
		1月	2月	3月	4月	
水痘	Varicella-zoster virus	1				1
	計	1				1
手足口病	Enterovirus71	1	1			2
	Epstein-Barr virus	1				1
	Human herpes virus 6		1			1
	Rhinovirus		1			1
	計	2	3			5
伝染性紅斑	Adenovirus 41				1	1
	Human herpes virus 6		1			1
	Human herpes virus 7		1		7	8
	Human metapneumovirus			1		1
	human parvovirus B19		1	2	7	10
	計		3	3	15	21
突発性発疹	Human herpes virus 6	1	1			2
	Rhinovirus					
	計	1	1			2
ヘルパンギーナ	Herpes simplex virus 1					
	Rhinovirus				1	1
					1	1
その他	Adenovirus 2		1		1	2
	Cytomegalovirus		1	1	1	3
	Echovirus 18		1			1
	Epstein-Barr virus			2	1	3
	Human herpes virus 6		1	2	3	6
	Human herpes virus 7				2	2
	Human metapneumovirus		2			2
	human parvovirus B19	1		2	1	4
	Norovirus GII NT		1	1	2	4
	Respiratory syncytial virus B	1				1
	Rhinovirus	1	2	1	2	6
	Sapovirus genogroup unknown				1	1
	Varicella-zoster virus				1	1
	<i>Escherichia coli</i> astA, aggR (+)	1				1
計	4	9	9	15	37	
総計		49	48	40	44	181

臨床診断名	病原微生物	2025年	2025年
		4月	総計
急性呼吸器感染症	Adenovirus NT	1	1
	Human metapneumovirus	3	3
	Influenza virus B/Victoria	6	6
	Respiratory syncytial virus	1	1
	Respiratory syncytial virus B	3	3
	Rhinovirus	4	4
検査検体数		28	28
検出率 (%)		64.3	64.3